

4・5月の防災活動等を紹介します。

ほぼ紙トイレ設置活動

4月10日に、(株)カワハラ技研と(株)中川製作所が開発した「ほぼ紙トイレ」が寄贈され、アイリスホールに設置されました。強化段ボールや紙ボードでできており、発災後1週間50名での使用を想定しています。ほぼ「紙」でできているため、使用後に焼却できる点や避難所にいる女性や高校生でも簡単に組み立てられる点が特徴です。3年7組災害科学科5名が実際に組み立てました。

アイリスホールに展示してあるので、じっくり見てみてください。



1学年 防災マップ作成

5月7日に1年生全員が防災マップ作りをしました。地図に自分の通学路を書き込んで、東日本大震災の浸水域がどこまでなのか、通学路は浸水域か、危険箇所はないか、避難できそうな場所はどこかなどを確認しました。登下校中に地震等が発生した際も、自分の命を守るよう行動しましょう。



2年災害科学科 有珠山巡検

5月8日～10日にかけて、2年7組災害科学科3名が北海道を訪れました。室蘭栄高校と合同で有珠山が噴火したときの災害跡地を巡り、火山災害の知見を深めました。また、室蘭工業大学を訪れ、教授や学生に教えていただき、タマネギのDNA解析実験を行ってきました。



3学年 クロスロード

5月23日に、柴田町社会福祉協議会の八島さんを講師に迎えて3年生全員で防災教材「クロスロード」を行いました。「避難所にペットを連れて行きますか」「大雨で避難する際に隣に住むおじいさんに声をかけていきますか」などの質問にYes・NOで答え、そう決めた理由も話し合いました。クロスロードは、災害を自分のこととして考えることができるだけでなく、他者のさまざまな考えを知ることによって多くの価値観や視点に出会うことができます。

